

治療結果の長期的安定を求めて

～ 天然歯とインプラントの共存 ～



講師

佐々木 猛 先生 (大阪府開業)



～ 講演抄録 ～

昨今、インプラント治療は予知性、安全性、有効性の高い欠損補綴の治療オプションとして確立してきたが、一方で、インプラント周囲炎や機械的トラブルなど、様々な併発症が報告されており、その恩恵を十分に享受できずにいる患者も多く見られる。特に部分欠損症例においては、天然歯とインプラントの両者が相互補完しながら健康に機能していくことが必要で、両者の生物学的、形態的および動態的な違いを理解し、歯周治療および補綴治療の観点から、炎症と力のコントロールを実践することが求められる。今回の石川臨床インプラント学会の総会講演では、天然歯とインプラントの共存をテーマとし、炎症と力のコントロールに焦点を当てて、長期予後に必要な諸条件について考察したいと思っている。また、補綴設計、咬合面形態など咬合力の方向と配分を適切に制御する重要性についても言及したい。 以上

ご挨拶

骨結合型インプラント治療が臨床に取り入れられるようになって四半世紀が経過し、基礎研究や臨床データから予知性の高い治療になりつつある。しかし、インプラント周囲炎や上部構造体構造体の破折など関連偶発症などが報告されインプラント治療法は帰路に立っていると言っても過言ではない。インプラント治療の目的は失われた歯の機能を再建することであり長期に安定性が必要である。特に多数歯欠損ではインプラントと天然歯との共存が大切であり相互補完しながら審美と機能性が求められる。つまり、力と炎症のコントロールを実践することが重要で天然歯ありきのインプラント治療は今後我々に求められることになる。そこで今回 ICI では第 46 回インプラント学会総会にてシンポジウムを務められ、天然歯とインプラントの共存をテーマに活躍されている佐々木猛先生を招聘した。私は、先生のシンポジウムを拝聴して大変感動したため講演会終了後、ICI のメンバーと共に総会講演にお誘いしたところ快諾を頂きました。インプラントロジストのみならず咬合配分、補綴形態、歯周病に興味があるベテランから若い先生まで「目から鱗の」講演会にぜひご出席をお待ちしております。

～医療法人 貴和会 佐々木 猛 先生 ご略歴～

ご略歴:

- 1995年 大阪大学歯学部卒業
- // 医療法人貴和会歯科診療所勤務
- 2008年 医療法人貴和会 理事
- // 貴和会新大阪歯科診療所院長
- 現在 ～現在に至る～
 JIADS 理事・常任講師 長崎大学歯学部非常勤講師 東京医科歯科大学歯学部非常勤講師
 元大阪大学歯学部臨床准教授
 American Academy of Periodontics (AAP) International member
 American Academy of Fixed Prosthodontics (AAFP) Active member
 日本臨床歯周病学会 理事、指導医、インプラント指導医 日本補綴歯科学会 会員

- 総会日時：平成29年 3月 26日 (日) 午前9時15分 ～ 9時45分
- 講演会： 午前10時 ～ 午後15時
- 会 場： 石川県地場産業振興センター本館 (☎076-268-2010) **第3研修室**
- 会 費： ICI 会員 6,000円 非会員 8,000円 コデンタルスタッフ 3,000円

※石川臨床インプラント学会 総会・講演 参加申込書※

(〒920-0027) 金沢市駅西新町 3-9-32 TEL:076-224-1222

喜多歯科医院

FAX: 076-224-1213

申込みコース名	受講料	扱い
ICI 2018-3月26日		

申し込みは、切り取らずこの用紙のまま FAX をお願いします

氏名	ローマ字 (大文字)		出身校	
	漢字		卒業年度	年
医院名	名称		TEL	- -
	住所	(〒 -)	FAX	- -

コース名・ICI 総会講演会 (単回)